

## 芸術学研究 23号；表紙，目次，奥付

雑誌名	芸術学研究
巻	23
発行年	2018-12
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/00154213">http://hdl.handle.net/2241/00154213</a>

no.

23'18

号

# 芸術学研究

Tsukuba Studies in Art and Design

筑波大学大学院人間総合科学研究科

Graduate School of Comprehensive Human Sciences, University of Tsukuba

2018年

## 横組目次

### ◆論文

- 1   メタルポイントに適したグラウンドに関する研究  
浅野早紀
- 11  フィールドワークとアート  
稲垣立男
- 21  国吉康雄の作品の絵画空間にみる、カゼインを用いた制作を経験したことによる影響について  
笠原浩美
- 31  彫刻家ジャコモ・マンズーの作品に見られる造形の特質について  
木村公則
- 41  社会の多様な現場でのコミュニケーションを伴うアート活動の展開  
小中大地
- 51  坂東壮一の版画集における表現についての考察  
佐藤真奈美
- 61  彫刻家・淀井敏夫の造形  
尖戸美咲
- 71  リンシードの加工法が鉛白の絵具特性や塗膜形成に及ぼす影響  
菅澤 薫
- 81  曾国藩幕府における張裕釗書法の形成  
陳 奕君
- 91  芸術系大学間ネットワークを活用したファインアート・マネジメントについての一考察  
星 美加
- 101 高経年マンション居住者の建替えに対する意見の形成に関する研究  
牧 奈歩



# 目 次

## 論文

メタルポイントに適したグラウンドに関する研究

グラウンドの表面の硬さとざらつきを中心に ..... 浅野 早紀 ..... 1

フィールドワークとアート

海外フィールドスクール 芸術コースの実践 ..... 稲垣 立男 ..... 11

国吉康雄の作品の絵画空間にみる、カゼインを用いた制作を

経験したことによる影響について

1940年代以降の作品分析を中心に ..... 笠原 浩美 ..... 21

彫刻家ジャコモ・マンズーの作品に見られる造形の特質について

..... 木村 公則 ..... 31

社会の多様な現場でのコミュニケーションを伴うアート活動の展開

ゴブリンプロジェクトの継続における現地協働運営者の存在意義 ..... 小中 大地 ..... 41

坂東壮一の版画集における表現についての考察

刊行先への聞き取り調査と版画集の実見調査を基に ..... 佐藤真奈美 ..... 51

彫刻家・淀井敏夫の造形

アルベルト・ジャコメッティとの比較による一考察 ..... 穴戸 美咲 ..... 61

リンシードの加工法が鉛白の絵具特性や塗膜形成に及ぼす影響

重合油を用いたブラックオイルを中心に ..... 菅澤 薫 ..... 71

曾国藩幕府における張裕釗書法の形成

同治前半期の書作を中心として ..... 陳 奕君 ..... 81

芸術系大学間ネットワークを活用したファインアート・マネジメントについての一考察

文化庁委託事業「新進芸術家育成交流作品展」FINE ART/UNIVERSITY

SELECTION 2013-2017 事業報告をもとに ..... 星 美加 ..... 91

高経年マンション居住者の建替えに対する意見の形成に関する研究

..... 牧 奈歩 ..... 101

# CONTENTS

## Research Paper

### A Study on Suitable Ground for Metalpoint

Focusing on the Hardness and Roughness of the Surface on the Ground..... ASANO Saki 1

### Fieldwork and Art

Practice of Field School Art Course..... INAGAKI Tatsuo 11

### A Study of the Influence of Working with Casein on the Pictorial Space of Yasuo Kuniyoshi

Focusing on Post 1940s Works Analysis..... KASAHARA Hiromi 21

### Features of Modeling in the Sculptures of Giacomo Manzù

..... KIMURA Masanori 31

### Developing Art Activities with Communication at Diverse Society Sites

#### The Significance of Existence of the Local Collaboration Enforcer

in the Continuation of Goblin Project ..... KONAKA Daichi 41

### A Study on Expressions in Bando Soichi's Printmaking Collection

Based on Interviews with Publications and Surveys of Prints Collections ..... SATO Manami 51

### Molding Works of Sculptor Toshio Yodoi

A Study Based on Comparisons with Alberto Giacometti ..... SHISHIDO Misaki 61

### Influence of Linseed Oil Processing Method on the Paint Properties and

#### Film Formation of Lead White

Focusing on Black Oil with Polymerized Oil ..... SUGASAWA Kaoru 71

### The Formation of Zhang Yu-Zhao's Calligraphic Style in Tsen

#### Guo-Fang's Staff Department

During the First Half of Tongzhi Reign..... CHIN Ekikun 81

### A Study of Fine Arts Management Based on the Network of Fine Arts Universities

#### On the Base of Report of the Exhibition "FINE ART/UNIVERSITY SELECTION"

#### under the Sponsorship of Agency of Cultural Affairs,

Government of Japan, Fiscal Year 2013-2017 ..... HOSHI Mika 91

### Opinion Formation about Reconstruction among Residents living in Aging Condominiums

..... MAKI Naho 101

## 『芸術学研究』投稿規定

平成22年6月16日芸術専攻教員会議承認

平成28年10月19日芸術専攻教育会議改訂

1. 『芸術学研究』（以下「本誌」）は筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程芸術専攻の発行する学術研究誌であり、同専攻在学生、同専攻の教員、同専攻に在籍していた修了生および退学者が投稿できるものとする。共著の場合、これらの者が筆頭となる論文のみを受け付ける。
2. 本誌は、原則として一年に2回原稿募集を行い、年1回刊行する。原稿募集の度に外部査読者を含む査読委員による厳正な審査を経て掲載の可否を決定する。同一号に同一者を筆頭として掲載できる論文は一編のみとする。
3. 在学生は指導教員の指導を受けて執筆・投稿すること。
4. 独立・完結した論文とし、連載は認めない。
5. 内容は芸術学・デザイン学の諸分野に関する論文とする。
6. 文字原稿の分量は本文・注を合わせて16,000字以内とする。頁数は題目・要旨・本文・注・図版・表等をすべて含めた全体で10頁以内に収めること。
7. 使用言語は、原則として日本語あるいは英語とし、題目と要旨については和文・英文の両方を記載すること。英文は事前に必ずネイティブ・チェックを受けること。なお、不完全の場合は受理しないことがある。英文で本文を執筆する場合は、題目と要旨の和文について日本語のネイティブ・チェックを受けること。
8. 文章は固有名詞、引用文を除き、常用漢字・現代仮名遣いに準拠すること。
9. 提出原稿はワープロ、パソコン仕様とし、日本語論文の書式は別に定める『芸術学研究』の原稿の書式に従うこと。英語論文の書式は「Chicago Style」か「APA Style」のいずれかとする。ただし注や引用文献の形式は各自の属する専門分野の学会誌の形式を使用してもよい。その際は、投稿時に当該学会誌の投稿規程のコピーを示すこと。
10. 原稿は図・表も含め、完全版下原稿で提出することとし、査読による修正要求に応える以外は、校正段階での訂正・変更を認めない。
11. 図版・表の特別な使用を希望する場合は、予め申し出ること。紙媒体にはカラー図版を認めないが、ウェブサイトに掲載する原稿にはカラー図版を認める。
12. 図版等の使用について必要な場合は、投稿者において著作権に関する措置を講じること。
13. 原稿提出は、論文編集委員会が定める日時に指定の場所に持参するものとする。指定日時を過ぎたもの、規定に従わない原稿は受理しない。
14. 原稿提出日には、プリントアウトした原稿を3部（コピー可）提出する。
15. 査読の結果、掲載が決定した原稿については、別途指示に従い、プリントアウト1部および原稿データの入ったCD-RやUSBメモリなど記録媒体（氏名・OS・ソフト名を添付）を提出する。
16. 投稿者は、本誌に掲載された論文について、ウェブサイト公開のために、複製または公衆送信（送信可能化も含む）その他一切の利用を芸術専攻及び筑波大学附属図書館が行うことを、無償で、地域または期間の限定なく、許諾することとする。

## 芸術学研究第23号

---

発行日 2018年12月

発行 筑波大学大学院人間総合科学研究科  
博士後期課程芸術専攻  
〒305-8574 茨城県つくば市天王台1-1-1

編集 芸術学研究 編集委員会：長田年弘、菅野智明、山本早里、林 みちこ

表紙 レイアウトフォーマットデザイン 西川 潔 山本政幸

印刷 株式会社イセブ

---

23'18  
no. 号



# 芸術学研究

Tsukuba Studies in Art and Design

筑波大学大学院人間総合科学研究科  
Graduate School of Comprehensive Human Sciences, University of Tsukuba